



今年も「情報モラルタイム」で学びます

昨年度も実施した「情報モラルタイム」。業間の時間を使い、情報モラルについて学びます。目的は下記のとおりです。

- 一人一人が情報化の進展が生活に及ぼす影響を理解し、情報に関する問題に適切に対処し、積極的に情報社会に参加しようとする創造的な態度をはぐくむため。
- インターネットを通じて起こる事件から自他の身を守り、安全・安心な状態でインターネットを活用することができるようになるため。

情報教育担当者を中心に企画し、継続的に実施します。定期的に考えることが重要だからです。写真は、26日（水）に実施した時の6年生の様子です。テーマは「オンラインゲーム上のトラブル」。ゲームの世界では、売り言葉に買い言葉でお互いに怒りのボルテージが上がりやすく、普段の人付き合いでは出てこないような言葉が飛び交ってしまうこともあります。相手の顔が見えないからこそ、言葉に気を付け、暴言で応答しないなどの意見が子供たちから出ていました。大切な視点ですね。



前途洋々

P T A 学級委員会・授業参観（人権学習）・学級懇談会、お世話になりました

25日（水）は、会長・副会長も同席され、第1回P T A学級委員会が実施されました。昨年度は中止となった「学級親善ミニバレー大会」や、キビ刈り及びキビ締め当日のこと等について、時間をかけて協議・検討していただきました。詳しくは、27日（金）の学級懇談会の際にも、ご提案があったと思います。建設的なご協議に心より感謝いたします。

そして27日（金）は夏休み前最後の授業参観・学級懇談会。今回の授業では、人権学習を行いました。少しこみ入った話になりますが、人権教育を通じて培われるべき資質・能力については、次の3つの側面から捉えることができます。（「人権教育の指導方法等の在り方について[第3次とりまとめ]」より）

① 知識的側面

→ 自由、責任、正義、個人の尊厳、権利、義務などの諸概念についての知識、人権の歴史や現状についての知識、国内法や国際法等々に関する知識・・・他

② 価値的・態度的側面

→ 人間の尊厳の尊重、自他の人権の尊重、多様性に対する肯定的評価・・・他

③ 技能的側面

→ コミュニケーション技能、合理的・分析的に思考する技能や偏見や差別を見極める技能・・・他

学校においては、これらのことを意識しながら人権教育を進めていきます。



人権ラジオ「言葉について考える」いい番組です!

以前の号でもお伝えしましたが、企画運営委員会が、人権旬間に合わせて、「人権ラジオ」の取組を行ってくれています。昼の放送で、本物のラジオ番組のように2人のパーソナリティが絶妙な掛け合いを行い、児童からの「おたより」ということで、人からかけられて嬉しかった言葉を紹介してくれています。（ちなみに始まりのBGMは、『オールナイトニッポン』のオープニング。懐かしいです。雰囲気も高まります）26日（木）の放送では、こんなおたよりが紹介されました。友だちから「絵が上手だね」と言われてとても励みになった話、遊びに入れて、と言ったら気持ちよく「いいよ!」と反応があって嬉しかった話、友だちの仕事を手伝ったら「ありがとう」というお返しがあったという話などなど……。番組の冒頭にも、一人一人が安心して過ごせる学校づくりのためにという目的が話されますが、言葉のプラスの力によって、そんな学校づくり、居場所づくりを進めてくれます。いい番組ですよ!

おたよりはこちらへどうぞ!

